※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　芸術科（音楽）

教科	音楽	科目	声楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	コンコーネ中声用（全音楽譜出版）他						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

声楽に関する基礎的な技術を習得して、音楽性豊かな表現ができるようになりましょう。

２　学習の到達目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的・創造的に、音楽性豊かな表現を追求する態度をもっている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かし、創造的に表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表している。	音楽に対する理解と楽曲の表現内容について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察	観察 実技テスト	観察 実技テスト	観察 実技テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和３年度以前入学生用

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌うための基本技術を身に付ける	歌う姿勢の確立 呼吸法 発声、発音 音程のとり方 発声教本[コンコーネ] 斉唱 2部合唱 混声3部合唱	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 音楽に対する理解と楽曲の表現内容について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表 （実技テスト）
2学期	声の世界を広げる	混声2･3部合唱 同声2･3部合唱 少人数のアンサンブル ポップスのアレンジ曲 オリジナルのコーラス曲	○	○	○	○	a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 音楽に対する理解と楽曲の表現内容について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表 （実技テスト）
3学期	表現意図を持って表現をする	混声3部合唱 少人数アンサンブル 二重唱、三重唱 独唱	○	○	○	○	a:様々な形態の斉唱・合唱の持つそれぞれの良さや持ち味に関心をもち、斉唱･合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、ハーモニーなど音楽を形づくっている要素やそれらの働きを理解し、曲想や歌詞の内容や楽曲の背景と関連づけながら音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c: 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、個性豊かに音楽表現するための技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、創造的に表している。 d: 音楽に対する理解と楽曲の表現内容について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 演奏の聴取 発表 （実技テスト）

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。